



ミンガラバー

こんにちは

NPO法人
日本・ミャンマー
医療人材育成支援協会

〒700-0811 岡山県岡山市
番町二丁目6番7号
Tel 086-224-0102
ホームページ <http://www.mjcp.or.jp>

ミャンマーの年越し行事、水掛け祭り。心身を清める



— 新年のご挨拶 —

「なぜミャンマーですか」と尋ねられて



NPO法人 日本・ミャンマー医療人材育成支援協会
理事長 岡田 茂

皆様明けましておめでとうございます。亥年の幕開けです。NPO法人日本・ミャンマー医療人材育成支援協会は、昨年3月に法人格を取得して以来順調に前進しております。会員数の目標は1000人です。現在は300人にもう一息の所に達しました。

最初の事業は、ミヤ

ンマー女性の癌死で上位にある子宮癌対策を引き受けました。現在、医師研修も進み、ミャンマー国最初となる婦人科癌検診開始も間近です。発展途上国の医療面での不安の軽減、医療人材不足の解消、伝染病など疾病の国際化に対する態勢作りなど、私たち一人ひとりが力を

合わせることに、目暮れに1か月間、京大の濱島教授に連れられて訪れています。まだビルマの頃です。訪問直前には、経済失政に対する学生蜂起などありました。目的はJICA(国際協力機構)事業の新ヤンゴン総合病院と国立医学研究局図書館・研究棟建設の見届けでした。私は、後にE型肝炎として世界に知られた感染性新型肝炎の研究の手伝いしていました。ビルマの貧しさに只々

びつくりし、まともに口に合う食べ物は果物しかないという記憶が鮮明で

です。軍政の89年に国名はミャンマーと変わります。次回は90年末から91年初頭、JICA事業の終焉を見届けに出かけています。この時、国立医学研究局の研究員と「遺伝性貧血」に関する研究を行

い、最初の共同論文を出しました。このあたりから、ミャンマーとの相性の良さが生まれてきたようです。人なつこさ、心からの親日的な雰囲気、仏教徒らしい生活の規律・喜捨の心・感謝の心まじめさ。おそらく、民間人にとっては日本以外ではアジアで最も安全な国でしょう。

平成8年(1996年)に初めて文科省から国際共同研究の費用が出ることになりました。ミャンマーの保健大臣は医師で、研究と施策の良いコンビネーションが進行していきます。例えば、売血は禁止され、国を挙げて献血制度に転換したのは私たちの力だったと自負できます。

しかし、スーチー女史の自宅監禁(平成15年)などによる欧米の批判に日本政府も相乗りした形で、ミャンマーに対する援助をほとんど打ち切ってしまった。ミャンマー政策に関しては欧米に追随することが、如何に日本の国益を損なうかという件に関しては、改めて問いたいとおもいます。ともかく、これらの事業を通じて、日本のノウハウを生かす形での岡山大学大学院医歯薬学部を中心とする大きな支援医療グループが作られていたのです。そのほとんど参加者は、何度もミャンマーを訪れるようになりました。JICAの援助が打ち切られた後も、事業の継続を求めて模索していました。幸い岡山大学の拠点形成プログラムに採択され、今日まで事業が継続しています。これが、私たちのNPOの基盤になっております。今年には是非、皆様も一度ミャンマーを訪れられ、皆様の今持つておられるイメージと比較した現実の姿をみて下さい。そして、私たちのNPO活動を更に盛り上げて下さい。今年が皆様にとりまして、幸多い年でありまして、ように祈念いたします。

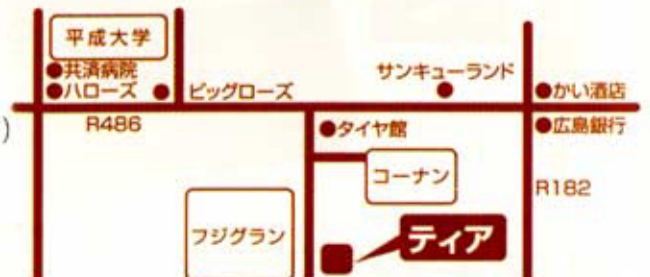
味を極め、居心地を極めた、
上質のひとときをお楽しみ下さい。

やさしさに出逢う店

ティア



福山市神辺町道上街区2-3(フジグラン神辺店前)
TEL 084-963-1905
●LUNCH 11:00~14:00
●SWEETS&TEA 14:00~17:40
●DINNER 17:00~22:00





新しい年が明けました。では、ミャンマーもめでたくお正月を迎えたのかというと、実はまだまだ。

ミャンマー暦では4月中旬がお正月です。「中旬」と、漠然とした言い方をするのは、ミャンマー暦はその年によって異なるからで、当然、国民の祝日もその年によって変わります。

大晦日には日本でもさまざまなイベントが行われますが、ミャンマーではその年の最後の三日間は「テインジャー」という水掛け祭りが行われます。これには、人々が水を掛け合って一年の汚れを取るという意味があり、清い身体で新年を迎えるためには欠かせない出来事。日本でも永田町通りで導入すればいいと思いますが、



△新年を迎えるために行なわれる水掛け祭り。この祭りでは「モロンレーポー」という団子を作って食べます。モロンは「丸いお菓子」、レーポーは「水面に浮かぶ」という意味。

ミャンマーのお正月は春!

年越しには清めの水掛け祭

心豊かな仏教行事の国

如何でしょう?もともと、その住人には、水どころか熱湯を掛けても染み付いた汚れは流せないかもしれません。ところで、ミャンマー暦では満月の日が重要視され、満月を選んでさまざまな祭りが行われます。5月の「カソン祭」は、その日、仏陀(お釈迦様)が菩提樹の下で悟りを開いたとされ、敬虔な仏教徒でもあるミャンマーの人々は、代わる代わる菩提樹に聖水を掛けて祈りを捧げます。日本でもお釈迦様に甘茶を掛ける「花祭り」が、各地の寺院で行われているのと同じです。こんなところにも、ミャンマーに親しみを感じますね。

7月の満月の日には

「ワージオ祭」があります。このころからミャンマーは雨季を迎えるので、人々がお坊さんに新しい僧衣を贈るので、「僧衣贈呈祭」ですね。ミャンマーでは、僧侶が如何に敬われ、親しまれているかが分かりますね。私たちが最もよく知っている国では、葬儀や法事で経を読むだけが仕事、失礼、幼稚園や駐車場の経営なども重要な仕事のようですが、経済活動に長けた人を僧侶というようです。もちろん、その国にはお坊さんを敬う人はほとんどいなくなつたといわれています。

また、この祭りの日には、若い男女がバゴダに花を捧げる風習も残っています。



お釈迦様が紀元前5世紀の5月の満月の日に菩提樹の木の下の悟りを開いたことから、5月の満月の日に行なわれるカソン祭。バゴダの周囲の菩提樹に、水をかける人々が集まっています。

ワージオ祭りでは、一般の人が雨季に備えて僧侶に僧衣を寄進します。雨季は「雨安居」(うあんこい梵語)といい、その3ヶ月間、僧侶は僧院にこもって瞑想を続けます。



こうして見ると、世界の最貧国、アジアの片田舎と称されるミャンマーの人々の方が遥かに心豊かで、経済的な評価基準(お金の多寡が絶対的な尺度=金尺)でしか豊かさを判断できない我が国民が、如何に心貧しいかということがよく分かります。

その一方、経済的な貧しさが、最低限の幸せを奪っていることも事実です。心豊かなミャンマーの人たちが、国の貧しさゆえに病魔から逃れる機会さえ奪われています。私たちの活動が実を結び、ミャンマーの人たちに一つでも多くの笑顔が増えるといいですね。

た報告から

明けましておめでとうございます。昨年3月の発足以来、多くの皆さまのご協力とご支援のおかげで、ミャンマーから研修生を迎えることができたことに、心から感謝致します。

広報担当としては、会員獲得や「ミンガラバー」の発行、諸先生方の講演活動の手配、ミャンマーツアーの段取りなど、精一杯務めさせていただきます。

せていただきましたが、至らぬ点多々あったことと反省しております。

それでも、ミャンマーからの研修生たちが、生き生きと勉学に励んでいる姿を見るにつけ、改めて私たちの活動が如何に役立ち、意義深いものであるかを認識しています。

2年目の今年は、私たちの活動に賛同して頂いて、活動を支えてくださる会員を増やし、一人でも多くの研修生を受け入れたいと思います。

そのためには、微力ですが全力を傾けて広報活動

に尽力したいと、決意を新たにしております。皆様から「こうしたらいい」とか「こんなこともやってみたら」とか、「ご提案やご意見等がございましたら、ぜひご一報ください。

一人の力は限られておりますが、志を同じくする者が集えば大きな力となります。どうか皆様におかれましては、一人でも多くの会員を獲得すべく、お力添えのほどお願い申し上げます。(西山)

編集協力 萬企画「サウザンズ」
084-955-5244

研修生、初めての

ミカン狩り楽しむ

ミャンマーの研修生たちは、昨年初、瀬戸大橋を渡ってミカン狩りに。もぎ取っては口に運び、また摘んでは皮を剥き…。日本の秋の味覚を満喫しました。



坂出市の西山ミカン園で

本物とは
身体のためによいものです。
基本は医食同源。



- よもぎ麺
 - 黒豆麺
 - あずき麺
 - 青きな粉麺
- 4種入パック 1,500円
2種入ケース 800円

大好評販売中!

ご注文・お問い合わせは

☎ 084-955-0505

<http://www.sky-net.or.jp/akane/>

✉ akane1@muse.ocn.ne.jp